

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	救急救命学科	夜・通信	6単位	6単位	
	リハビリテーション学科 理学療法士コース	夜・通信	9単位	9単位	
	リハビリテーション学科 作業療法士コース	夜・通信	9単位	9単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページでの公表 https://kokuigak.ac.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページでの公表	https://kokuigak.ac.jp
------------	---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	R4. 4. 1 から R8. 3, 31 迄	学校運営全般
非常勤	会社役員	R4. 4. 1 から R8. 3, 31 迄	学校運営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

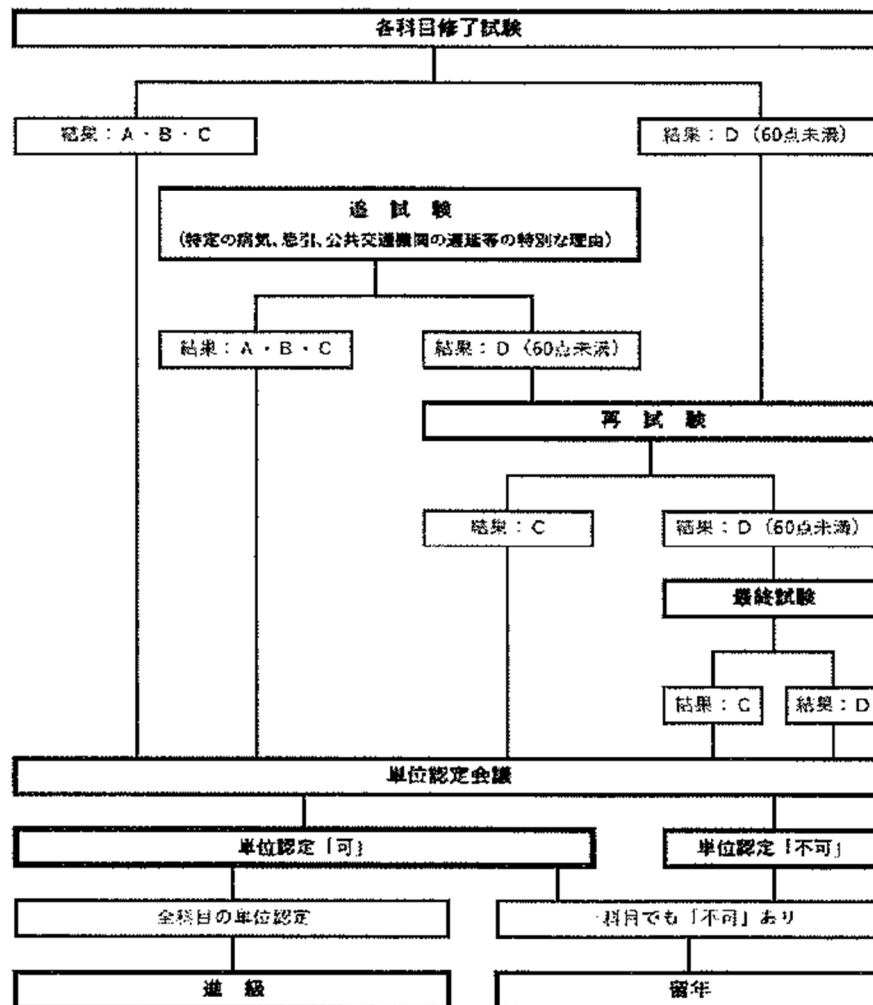
学校名	国際医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 国際医療福祉専門学校救急救命学科、リハビリテーション学科授業計画として、毎年各学科全教員で学科会議を行った上で各学科長が作成し、学校長の承諾を得て web シラバスをホームページに掲載する。	
授業計画書の公表方法	ホームページでの公表 https://kokuiigak.ac.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ■成績評価の基準・方法 成績評価は80点以上をA、70点以上79点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をDで表しDは当該科目を不可とする。 救急救命学科 ■卒業・進級条件 当該学年において、履修すべき科目の単位認定を受け、かつ当校が進級を認めた者。当該学科の全科目の単位認定を受け、かつ当校が卒業を認めた者。 ※シラバスに履修認定方法を提示する。 リハビリテーション学科（理学療法士コース・作業療法士コース共通） ■卒業・進級条件 当該学年において、履修すべき科目の単位認定を受け、かつ当校が進級を認めた者。当該学科の全科目の単位認定を受け、かつ当校が卒業を認めた者。 ※シラバスに履修認定方法を提示する。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価の仕組み（フロー図）



成績評価は80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をDで表しDは当該単位認定を不可とする。

※ なお理学療法学科については上記フロー中の、最終試験は実施せずに判定。
再試験で結果がDの者はそのまま単位認定会議へと進む。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ■卒業条件 履修科目ごとに定める授業時間の3分の2以上出席し、卒業時に教育課程で定められた所定の当該学科の全科目の単位認定を受け、かつ当校が卒業を認めた者。 また、基本理念として「幅広い医療知識と確かな技術、そして人を思いやる心を育む」力を養う。 一人ひとりの学生が仕事を通して、人の命を救い生きる力を与えることで、感謝され幸せを得る。真のプロフェッショナルになるために、国際医療福祉専門学校では同じ目標の仲間と切磋琢磨し、現場に直結した教育と実習体制で幅広い知識と技能、患者を思いやる温かな心を養います。		
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページでの公表	https://kokuigak.ac.jp

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kokuigak.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	救急救命学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2070 時間/88 単位 単位時間／単位	945/63 単位時間 /単位	180/4 単位時間 /単位	405/9 単位時間 /単位	単位時間 /単位	540/12 単位時間 /単位
			2070 時間/88 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		66 人	0 人	3 人	0 人	3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 国際医療福祉専門学校救急救命学科、授業計画として毎年作成し、シラバスを毎年5月にホームページに掲載する。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は80点以上をA、70点以上79点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をDで表しDは当該科目を不可とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 1年生及び2年生修了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者
学修支援等
（概要） ・定期的な個人面談の実施 ・特別補講授業の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	人 (%)	23 人 (95.8%)	1 人 (4.2%)
（主な就職、業界等） 消防機関、医療機関			
（就職指導内容） 就職担当による進路相談及び進路指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 救急救命士（国家資格）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	4 人	6.6%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個人面談の実施、学費についての相談、補講授業の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	リハビリテーション学科 理学療法士コース (2023 年入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3210 時間/104 単位 単位時間／単位	1800/67 単位時間／単位	510/17 単位時間／単位	900/20 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			3210 時間/104 単位				
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	リハビリテーション学科 理学療法士コース (2024・2025 年入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

3 年	昼	3165 時間/104 単位 単位時間／単位		1860/74 単位時間 /単位	405/10 単位時間 /単位	900/20 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				3165 時間/104 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人		52 人	0 人	5 人	9 人	14 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 国際医療福祉専門学校リハビリテーション学科、授業計画として毎年作成し、シラバスをホームページに掲載する。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は 80 点以上を A、70 点以上 79 点未満を B、60 点以上 70 点未満を C、60 点未満を D で表し D は当該科目を不可とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 1 年生及び 2 年生、3 年生の修了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者
学修支援等
（概要） ・ 定期的な個人面談の実施 ・ 特別補講授業の実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	0 人 (0 %)	25 人 (96.2%)	1 人 (3.8%)
（主な就職、業界等） 医療機関			
（就職指導内容） 就職担当による進路相談及び進路指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士（国家資格）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67 人	8 人	11.9%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談の実施、学費についての相談、補講授業の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	リハビリテーション学科 作業療法士コース (2023 年入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3240 時間/104 単位 単位時間／単位	1860/69 単位時間 /単位	480/15 単位時間 /単位	900/20 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3240 時間/104 単位				
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	リハビリテーション学科 作業療法士コース (2024・2025 年入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3165 時間/105 単位 単位時間／単位	1785/70 単位時間 /単位	390/13 単位時間 /単位	990/22 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3165 時間/105 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		49 人	0 人	6 人	9 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 国際医療福祉専門学校リハビリテーション学科、授業計画として毎年作成し、シラバスをホームページに掲載する。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は 80 点以上を A、70 点以上 79 点未満を B、60 点以上 70 点未満を C、60 点未満を D で表し D は当該科目を不可とする。
卒業・進級の認定基準

(概要) 1 年生及び 2 年生、3 年生の修了時に所定の全科目が合格であった者、卒業時に所定の全科目が合格であった者
学修支援等
(概要) ・ 定期的な個人面談の実施 ・ 特別補講授業の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100%)	0 人 () %	7 人 (87.5%)	1 人 (12.5%)
(主な就職、業界等) 医療機関			
(就職指導内容) 就職担当による進路相談及び進路指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	1 人	2.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個人面談の実施、学費についての相談、補講授業の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
救急救命学科	200,000 円	780,000 円	450,000 円	実習費、施設費
リハビリテーション学科 理学療法士コース	300,000 円	880,000 円	500,000 円	実習費、施設費
リハビリテーション学科 作業療法士コース	200,000 円	780,000 円	500,000 円	実習費、施設費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
URL http://www.kokuigak.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
・主な評価項目は学校自己評価に基づく内容 (学校運営、教育活動、教育環境、学習成果、学生支援、財務、法令等の遵守) とする。 ・評価委員会は、 ・年度末に学校関係者評価委員会を開催する。 ・実践的な職業教育を目的とした教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目標を定め、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さについて評価、公表し学校として組織的、継続的な改善を図る。 ・生徒、保護者、関係団体に適切な説明責任を果たすとともに、学校関係者に教育活動等、学校運営について理解を得る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
税理士	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	財務/経理
元富津市消防長	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	環境/就職
市原市体育協会副理事長 元中学校長	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	教育/健康
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://kokuigak.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://kokuigak.ac.jp